



平成 27 年 8 月 5 日

独立行政法人国立科学博物館

フラスコに種子を蒔いて 15 年！

バヌアツ共和国固有のランが開花しました

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 岩科 司)において、バヌアツ共和国固有のラン「ブルボフィルム・ネオブディクム」が開花しました。

1997 年に筑波実験植物園が「バヌアツ共和国」に植物調査を行った際、採取した株を育成してできた種子を、2000 年にフラスコの無菌培地に蒔いたものです。

開花までには何度も植え継ぎを行い、十分に大きくなったところでフラスコから出した株が、今回花をつけました。

開花したランは、ブルボフィルム・ネオブディクム (*Bulbophyllum neoebudicum*) という植物で、1995 年に新種として記載されたマメツタランの仲間です。バヌアツ共和国にのみ自生する植物で、通常は木の上で生育します。日本では筑波実験植物園以外にはコレクションがなく、一般の人がこの花を見る機会はずりありません。紫と白のストライプ、唇弁の濃い朱色が大変美しく、はかなげに咲く小さく可憐なランをこの機会にぜひご覧ください。

このような希少な植物を系統保全し、研究や保全に役立てることは、筑波実験植物園の大切な使命の一つです。植物園の培養室では、世界の希少種を保全し繁殖しており、今回はその成果発表となります。

つきましては、本件について、取材・記事の掲載など広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：堤 千絵(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: tbjimu@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

バヌアツ共和国固有のランが開花しました

1. 今回開花したランについて

学名：ブルボフィルム・ネオブディウム (*Bulbophyllum neoebudicum*)

分布：バヌアツ共和国固有の植物

花の特徴：1995年に新種として登録されたマメヅタランの仲間。花は小さいが、紫と白のストライプ、唇弁の濃い朱色は大変美しい。

2. 今回の開花について

開花日：2015年8月5日（水）

花の大きさ：約1.5cm

花の見ごろ：開花後2-3日

公開場所：筑波実験植物園研修展示館2階培養室

開花までの道のり：

- ・1997年の植物調査で株を採取。
- ・2000年からフラスコの無菌培地に蒔いて培養育成。
- ・何度も植え継ぎを行い、十分大きくなったところで2014年9月頃よりフラスコから出して育成し、2015年8月5日開花。

